

授業科目名	組織マネジメント論	担当教員	千賀 喜史
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年第1クオーター		
講義内容	<p>民間企業や自治体など公的機関でも、組織を強くするのは、そこに所属する人である。本講義では組織における人間の行動に焦点をあて、個人の行動特性やモチベーションについて学ぶことで、強い組織、持続可能な組織を創りあげていくことを考えていく。組織マネジメントのあり方は、多様な観点で研究がおこなわれているが、特に組織内の個人行動と組織の内外の管理のあり方、動機付けの問題などを掘り下げていく。また、企業や自治体にとどまらず、非営利組織（NPO/NGO）にも焦点をあて、どのような経営資源を獲得することが持続可能性につながるか理解を図る。</p>		
到達目標	<p>① 実在する企業のケースから、経営に関する基礎知識を学び、成功（または失敗の要因）に関する分析能力が得られる。 ② 中小企業における経営の仕組みや課題、実践的応用力が得られる。 ③ 自治体や非営利組織における経営資源の確保について基礎的な知識が得られる。</p>		
授業計画	<p>社会人経験のない学生に対し、理解と知的好奇心を促進できるように、実在する企業や組織をとりあげ、組織論の基礎と実践を学ぶ。また、事業展開においての転機を迎えたときに、どのような方向付けをすればよいか考えていく。5-6人程度のグループワークをおこない、他の受講生の異見（異なる考え）を取り込んでいくことを目指す。また、同時に将来のキャリアと関連させて組織マネジメントを学ぶ。</p> <p>第1回 オリエンテーション、授業の全体像と進め方 第2回 マネジメントを学ぶ 第3回 論語と算盤 第4回 松下幸之助に学ぶ哲学 第5回 組織改革 第6回 非営利組織（NPO）の特徴と理解 第7回 ケーススタディ① 第8回 組織変革のための7つのS 第9回 組織デザイン、経営戦略と組織設計の適合 第10回 ケーススタディ②（組織の活性化と組織デザイン） 第11回 グループワーク 第12回 学習成果発表（プレゼンテーション実施）</p>		
事前・事後学習	<p>ケーススタディを2回実施する（第7回と第10回）。課題は事前に配布するので予習をし、自分ならどうするかという視点で考えをまとめること。また、グループ討議では役割分担を考え、時間内に一定の結論をまとめること。</p>		
テキスト	<p>『キャリアで語る「経営組織」第2版』稲葉 祐之、井上 達彦、鈴木 竜太、</p>		

	山下 勝、有斐閣アルマ、2022 年
参考文献	『「人」財経営のすすめ』佐竹隆幸、神戸新聞総合出版センター、2014 年
成績評価の基準	① 各回の講義での発言やクラス貢献度(30%) ② グループ討議での貢献(30%) ③ グループによるプレゼンテーション(40%) プレゼンテーションに関しては、完成度の高さよりも、最終結論に至るまでのプロセス、グループ貢献などを評価する。
履修上の注意 履修要件	「リスクマネジメント論」を合わせて履修することで、多面的な組織論の理解と応用につながる。
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	質問等は講義前後、またメールにて受付する。(講義初回に周知)